

## 保育園児がササユリの種まきを体験

J A 東びわこ多賀ササユリ部会では、多賀町の町花であるササユリの増殖を行っています。以前は培養した球根の販売を行っていましたが、現在は種から地道に球根増殖活動を行っています。

多賀ササユリ部会では、町の花であるササユリに小さい頃から興味をもって知ってほしいと町に相談(当課が部会に働きかけたことがきっかけ)、今回、保育園での種まき体験が実施されました。

1 月 27 日(火)に多賀町立たきのみや保育園の年長児(9 名)と一緒にこの秋採種したササユリの種まきを行いました。部会長から作業の説明の後、園児はユリの莢から種を取りだし、密封できるビニール袋にバーミキュライトを入れ、種を混ぜる作業を行いました。

ササユリを見たことがある園児はほとんどなく、莢から種を取り出すときには「こんなにいっぱい入ってるの」「ぺらぺらしてる」と驚きの声も上がっていました。先生も初めて種を見たとおっしゃっていました。部会員から昨年播種したものを見せてもらい、1 年たってもこんな小さな球根にしかならないこと、花が咲くのは中学生になるころと教えてもらっていました。

以前はどこにでも咲いていたササユリが減少し、町民も目にする機会が減っています。農産普及課では多賀の地域特産の振興を普及課題として活動をすすめています。



莢から種を取り出す園児



種を袋に入れる作業



播種して1年経過した球根(約5mm)